

飲水思源

町長 松岡 市郎

2人の作家との出会いと想うこと

昨年暮れ、日本のコマーシャル界をリードされてきた2人の作家とお会いする機会を得た。映像作家三上琇正（みかみ ゆうせい）氏とアートデザイナー浅葉克己（あさば かつみ）氏である。

私にとつて、お二人のお名前を聞いても、「ああ、あの人だ」と容易にイメージすることはできない。初めてお聞きする名前であり、出会いであった。名前は聞いたことがなくとも、TVコマーシャルの「王貞治のリポビタンD」「チャールズブロンソンのマンダム」「上原謙と高峰三枝子のフルムーン」「ピカピカの1年生」「太田胃散」などを羅列すると、「ああ、あのTV宣伝」と思いつく。

このコマーシャル映像を担当したのが、1965（昭和40）年ごろから活躍されている三上氏である。また初めてお会いすると、手品師か、いやお話しを聞いていると壮年の卓球選手かな、と思わせるのが、「アリナミンA」「日清カップヌードル」「サントリー オールド」などの広告を担当したアートディレクター界第一人者の浅葉氏である。

2人の著名な作家にお会いできた

のは大変光栄なことだ。今まで作家本人との直接的な面識は全くなくとも、映像などを通じて触れ合っていたことになる。

お二人は大変に謙虚な方々で、製作への意欲と研究心が大変旺盛、輝いており、良い刺激を受け、学ぶところが大きい。TVコマーシャルでは作家の名前がどこにも表示されていないこともお二人に共通しているが、作品を見てみると自分の成長とも密接に関係し、感慨深いものがある。昨年は賞味期限など表示問題が大きな話題となっていたが、このような作品にもどこかに製作関係者の名前が表示されても良いのではないか、と思う。

さて行政分野においても、将来にわたって継続できる意見を採用した場合には、職員であろうと住民や町外の人であろうと「提案者 ○○○○」「デザイン ○○○○」、事務担当者「担当 ○○○○」と表示することも大切なことではないかと思う。TVなどのコマーシャル作品に作家の名前が記されていないことをみて改めて感じる。新年度から検討してみたい。

短歌

相つぎて人の死を聞く朝庭に来年花咲く球根を埋すむ
ナナカマドたわわにみのりし神楽岡夕日に映ゆる町のシンボル
慰めの言葉をもたぬ吾が許へ友は幾たび嘆き告げくる
一ぶくのお茶でやる気を養いて短歌の言葉を頭にえがく
重心を前におとして雪の道老ゆる歳月止める術なく
業終えて宿舎に帰る中国研修生母国言葉で癒し居るらし
朝寒や日差しさしくる窓辺には裸木の空広びろとあり
神よりも新米早く口にして息災なるをかみしめている
霜月は母の祥月命日で母逝きし日は雪深かりき
冷ゆる朝友の訃報を聞きあれば生命の重さあらためて知る
秋の路真つすぐつげ空までもわたしのアクセル休まずに踏む
あざやかな紅葉に染み歩みゆく自然の心に和らぎながら
あかのまま秋のころの零れかなゆふぐれどきは莫座に並びぬ
我とわれ自らを責めて見たれども老の頭の如何ともなし

俳句

連峰にむけて息吸う初茜
金剛の千の矢放つ初日かな
初釜や衣い似合う嫁まぶし
初句会旧知の顔も華やいで
かりそめの世に長居して寝正月
初暦一筆加わり動きだす
歳旦や夫の健やかまず祈る
元朝や我が心音に乱れなし
歌留多会千姿万態に突きにけり
土不踏に膏葉貼って去年今年
年用意やめて紅おく独り膳

松倉	和子	那須	喜美	瓜生	昭枝	岩田	ふじえ	笹田	富士子	矢沢	ますえ	嶋崎	ミエ	中田	治子	岡澤	チズ子	永江	栄子	宮坂	敬子	清水	チヨ	井山	一文	尾池	真沙子	杉山	ひろのり	徳光	吐苦	杉山	りつ	山口	佐知子	石澤	清宏	澤田	久美子	松山	蓉子	小林	露葉	青野	公花	宮坂	紫雲	秋山	深雪
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	------	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----